

喫煙により発症のリスクが増大すると考えられる疾患を「たばこ病」と呼んでいます。悪性新生物、冠状動脈疾患、脳血管疾患、慢性閉そく性肺疾患は、喫煙が健康に与える悪影響の代表的なもので、英語表記の頭文字がどれも C であることから4Cと称されています。

ここではたばこ病として確立されているものを以下にあげておきます。

分類	急性影響・症状など	慢性影響・疾患など
呼吸器系	咳、痰など	慢性閉塞性肺疾患、慢性気管支炎、肺気腫、気管支喘息
循環器系	血圧上昇、心拍数増加、末梢血管収縮、循環障害、手足のしびれ感や冷感、肩こり、首のこり、まぶたの腫れなど	虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、高血圧、大動脈瘤、末梢血管閉塞症、パージャール病、脳血管障害（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血）
消化器系	食欲低下、口臭など	胃・十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、慢性胃炎、クローン病、肝硬変、歯周病、口内炎、歯の喪失、白斑症
がん		肺がん、喉頭がん、口腔・咽頭がん、食道がん、胃がん、肝臓がん、膵臓がん、腎盂がん、尿管がん、膀胱がん、子宮頸がん
中枢神経／感覚器系	知的活動能低下、睡眠障害	脳萎縮、アルツハイマー病、白内障、難聴、中耳炎
妊娠		流産、早産、前置胎盤、低体重児、周産期死亡
その他	運動能力低下、皮膚温低下	免疫機能低下、糖尿病血管合併症、骨粗鬆症、皮膚のしわ増加、体重減少、外科手術の予後不良、大気複合汚染
全身影響	健康水準の低下	寿命短縮、老化促進、寝たきり促進